

カラス対策について

令和5年8月25日 福島市環境部環境課

これまでのカラス対策

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">○中村浩志氏（信州大学名誉教授）講演会○ムクドリ・カラス対策大作戦 市中心部でオオタカ・フクロウの鳴き声やロケット花火等による追払いを実施	 <p>追払いの様子</p>
令和3年度	<ul style="list-style-type: none">○(株)ClowLab代表取締役 塚原直樹氏（宇都宮大学特任助教）による訪問コンサルの実施○福島駅東口駅前広場に音声再生装置「だまくらカラス」を2か月間設置し実証実験○特殊波動方式の追払い機をパセオ通りの樹木3か所に設置	 <p>音声再生装置「だまくらカラス」</p>
令和4年度	<ul style="list-style-type: none">○福島駅東口駅前広場に音声再生装置「だまくらカラス」を設置（常設）○福島学院大学等よりカラス被害対策に関する要望書を受理○パセオ通りカラス強化対策<ul style="list-style-type: none">・移動式の音声再生装置「だまくらカラス」を3台使用し、パセオ通り商店会や福島学院大学と連携し追払いを実施	 <p>フン書の状況</p>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none">○パセオ通りのフン害状況の確認や商店会等への聞き取りを行い、音声再生装置の効果を確認○カラスに荒らされにくいごみ集積所の効果検証<ul style="list-style-type: none">・ボックス式及び鎖付きのごみネットによる効果を検証	 <p>ごみネット設置状況</p>

○新たな行政課題と本市の取組

- (1) 全国の多くの自治体が抱える新たな行政課題
カラス対策(フン害対策、ごみ集積所荒らし対策、国への要望など)
- (2) 本市の取組
 - ① 令和5年2月に福島学院大学等からパセオ通りのカラス対策要望を受け、(株)CrowLab塚原先生(宇都宮大学特任助教)のアドバイスをもとに、音声再生装置「だまくらカラス」をリースし追い払いの緊急対策を実施。
 - ② 市中心部のフン害の状況を令和5年4月～5月の2か月間調査するとともに、パセオ通り商店会等に聞き取りを行い、フン害が収まっていることを確認



福島市中心部において、(株)CrowLab塚原先生との連携のもと、冬場の渡り鳥ミヤマガラス対策を実施

～パセオ通り北側の状況～



令和5年1月24日

対策



令和5年4月11日

～パセオ通り南側の状況～



令和5年1月24日

対策



令和5年4月11日

1 カラスに荒らされにくいごみ集積所対策の広域展開

カラスの餌場となるごみ集積所の効果的な対策について検証を行い、ごみの散乱防止による清潔なごみ集積所の維持を図る。

《事業内容》

ごみ集積所対策の広域展開 (R5.10~R6.3)

令和5年6月よりごみ集積所対策グッズ（ボックス型のごみネット、ごみネットに鎖を取付ける等）の効果検証を実施している（令和5年10月まで）。

これら効果検証により得られた知見を踏まえ、ごみ集積所対策の広域展開として、市中心部においてカラスに荒らされ困っているごみ集積所を選定し、住民と共にごみの散乱防止対策に取り組む。

なお、カラス対策の専門家である(株)CrowLab 代表取締役塚原氏（宇都宮大学特任助教）に現地を確認いただき、集積所対策グッズの効果や、効果的な対策方法などについて専門的見地からアドバイスをいただく。

追い払うのは対症療法で根本解決にならない



《期待される効果》

- ①ごみ集積所におけるプラスチック等の散乱防止により「プラスチックごみの海洋流出」の防止につながる。
- ②ごみの適正排出に係る市民の意識向上が期待できる。
- ③カラスの餌が少なくなる冬場にごみ集積所対策を実施することで、カラスの個体数が減少し中心市街地や農地のカラス被害の減少につながる。

ごみ集積所対策グッズの設置状況



設置前(令和5年5月)



設置後(令和5年6月)

2 冬場の渡り鳥(ミヤマガラス)対策

冬場に中心市街地に飛来する渡り鳥（ミヤマガラス）によるフン害対策を実施し、中心市街地の美しい都市環境を維持する。

《対策の期間》 令和5年11月～令和6年3月
《対策の場所》 福島駅東口の街なかにおけるフン害の発生場所（パセオ通りなど）

《事業内容》

①音声再生装置による追払い

移動式音声再生装置「だまくらカラス」を使用し、商店会や福島学院大学、包括連携協定先の企業等と連携し対策を実施する。

なお、カラス対策の専門家である(株)CrowLab 代表取締役 塚原氏（宇都宮大学特任助教）に、専門的な見地から追払い手法等のアドバイスをいただく。

②国・県と連携したフン害対策

国道や県道で発生しているフン害については、所管の国や県と連携し、樹木の枝払いや歩道の清掃等の対策を実施する。

③市職員による追払い

だまくらカラス、特殊波動式追払いハンディ機及びホロライト・チェッカーズを使用し、関係部局（建設部・都市政策部）と連携しながら追払いを実施する。

《期待される効果》

中心市街地のビル壁面や窓ガラス等に被害をもたらすフン害を抑制することにより、清潔で美しい街並み景観の維持が図られる。

※だまくらカラスの動作イメージ



(イメージ)



だまくらカラス



特殊波動方式
追払いハンディ機



ホロライト・チェッカーズ